

人のぬくもりと  
ふれあいが奏でる躍動のまち  
丹波高原文化の郷●京丹波

# 広報 京丹波

KYOTAMBA

NO.56

6月号

2010年6月15日発行

田んぼで学ぶ  
豊かな自然の大切さ



特集

## 下水道

特集

# 下水道

快適な生活環境の確保と循環型社会の構築を目指して整備を進めている「下水道(下水処理施設含む)」。今回は、下水道の仕組みや役割、普及状況などについて特集します。



今月の表紙

5月13日、竹野小学校の2年生6人が地元農家の山田元さん(高岡)の田んぼを訪れ、田植えを体験。児童たちは、山田さんの指導のもと、ぬかるんだ足元に気にながら、手植えでの田植え作業を行いました。(関連記事を14ページに掲載)

## No.56 CONTENTS

- 2 **特集** 下水道
- 8 瑞穂地区の保育拠点施設  
瑞穂地区保育所の新築工事が始まる
- 10 農業生産基盤の充実に向けて  
竹野地区のほ場整備が完成
- 12 Dr's Message いきいき健康術
- 13 **FLASH** KYOTAMBA TOWN NEWS 2010  
ホッケーを通じて広がる交流の輪  
—ホッケーフェスティバル  
地域ブランド「アユ」を知る機会  
—稚アユ放流体験  
地域に開かれた身近な施設を目指して  
—タケノコ掘り体験  
楽しみながら交流を図るスポーツイベント  
—障害者ふれあい広場  
手植えでの田植え作業を体験  
—竹野小学校が田植え体験  
良好な黒豆栽培を目指して  
—排水対策実演会  
緑豊かな自然の中で旬の山菜料理を満喫  
—質志鐘乳洞公園春祭り  
四季折々の山野草で季節を感じて  
—春・山野草の森祭り  
来園者と共に開園40周年を祝う  
—ちびっこまつり  
由良川を彩る色鮮やかなこいのぼり  
—「大空の会」が100体のこいのぼりを設置

### 下水道の役割

下水道は、家庭からの生活排水や工場などからの産業排水(以下「下水」)を河川などへ直接流さずに、処理施設によって、きれいな水に浄化する役割を持っています。

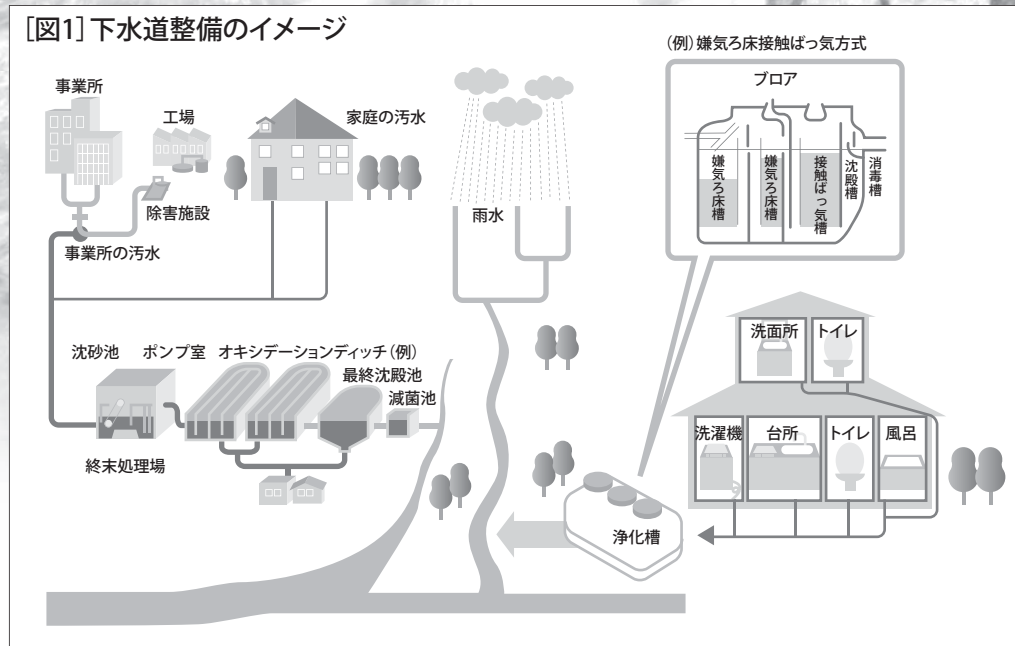
普及が始まった当初は、都市への人口集中により生活排水の処理が困難になったことや、産業の急速な発展に伴い産業排水が河川などに及ぼす影響が顕著になったことから、都市部を中心に整備が進められてきました。しかし、快適な生活環境の確保や環境保全意識の向上、循環型社会の構築などが重

どと、そのほかの省庁が所管する「下水道以外の処理施設」があり、地域の特性や現状に応じて、効率のよい方法で整備をしています。なお、本町では、下水道を整備する際に次の事業を活用しています。

### 下水道の種類

下水道整備は、住宅などが密集した地域を対象に排水管で下水を集めて浄化する「集合処理施設」と、住宅が点在する地域を対象に各家庭で個別に合併処理浄化槽(以下「浄化槽」)を設置する「個別処理施設」に分類されます。(「図1」参照)

下水道の種類としては、国土交通省が所管する「公共下水道」な



#### 【集合処理施設】

##### ■特定環境保全公共下水道事業

〔国土交通省所管〕  
市街化区域以外の区域で行う公共下水道整備。

##### ■農業集落排水事業

〔農林水産省所管〕  
農業振興地域内の農業集落における下水処理を目的とした施設整備。

##### ■林業集落排水事業

〔農林水産省所管〕  
林業地域における下水処理を目的とした施設整備。

##### ■簡易排水事業

〔農林水産省所管〕  
山村振興地域などにおける下水処理を目的とした施設整備。

#### 【個別処理施設】

##### ■浄化槽設置整備事業

〔環境省〕  
補助を受けて個人が個別に設置する浄化槽設備。

##### ■浄化槽市町村整備推進事業

〔環境省・総務省〕  
市町村が公営事業として設置し、維持管理する浄化槽設備。

※個別処理施設は、集合処理施設が整備されていない区域が対象です。

【表1】下水道処理施設の設置状況

■集合処理施設 <span style="float:right">平成22年3月末現在</span>				
地区(処理区)	供用開始年月日	供用開始区域面積	計画戸数(戸)	使用戸数(戸)
<b>農業集落排水施設 (16地区)</b>				
1 須知	S61.11.9	28.8ha	226	200
2 蒲生	S63.3.25	37.7ha	123	123
3 富田	H4.9.1	30.3ha	162	156
4 下蒲生	H5.9.1	20.0ha	150	144
5 実勢	H8.4.1	14.0ha	102	93
6 市森	H6.9.1	5.0ha	41	37
7 竹野	H8.10.20	16.6ha	168	165
8 曾根	H10.8.1	5.6ha	43	43
9 谷・安井	H9.3.1	8.0ha	69	49
10 下大久保	H7.4.1	12.0ha	81	72
11 質美	H12.4.1	32.0ha	204	189
12 梅田	H14.10.1	30.0ha	205	174
13 本庄	H4.12.1	42.0ha	282	214
14 市場・篠原	H12.12.1	2.6ha	36	26
15 下粟野	H14.3.1	7.0ha	26	23
16 升谷	H15.4.1	15.8ha	74	53
小計		307.4ha	1,992	1,761
<b>林業集落排水施設 (2地区)</b>				
17 上粟野	H11.4.1	7.0ha	19	17
18 仏主	H12.4.1	11.0ha	19	16
小計		18.0ha	38	33
<b>簡易排水施設 (1地区)</b>				
19 上乙見	H9.4.1	5.0ha	19	24
小計		5.0ha	19	24
<b>特定環境保全公共下水道</b>				
20 上豊田・豊田	H4.7.1	49.5ha	510	308
21 水戸	H5.8.1	28.8ha	170	136
22 下山	H12.5.1	49.0ha	1,000	716
23 瑞穂	H9.4.1	120.0ha	800	605
小計		247.3ha	2,480	1,765
<b>合計</b>		<b>577.7ha</b>	<b>4,529</b>	<b>3,583</b>

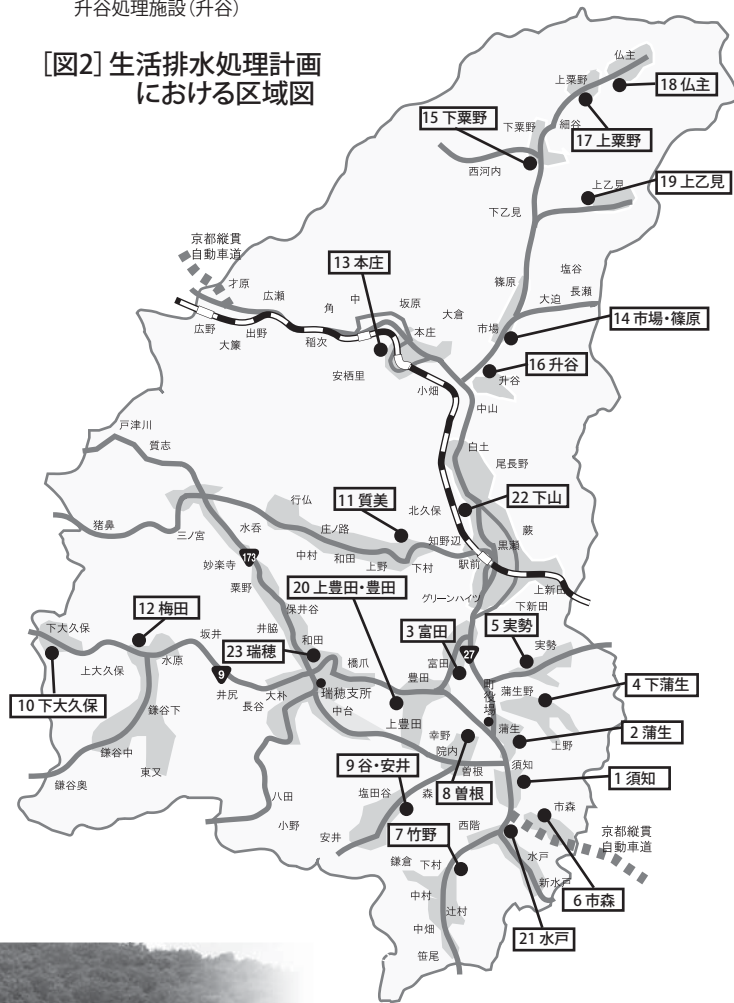
■個別処理施設				
浄化槽設置対象基数	浄化槽設置基数(基)			
	町設置	町譲渡	私設管理	合計
1,941	218	848	161	1,227

※「町譲渡」は、個人が設置した後に町へ譲渡された基数です。



升谷処理施設(升谷)

【図2】生活排水処理計画における区域図



下山浄化センター(下山)



# 下水道の全町普及に向けて

豊かな自然環境を守り、快適な生活環境の確保を目指して、本町が進めている下水道の全町普及に向けた取り組みを紹介します。

## 下水道の普及状況

本町では、地区の現状に応じた効率的な施設整備を目指して、平成十七年に「京丹波町生活排水処理計画」を策定。計画では、町内を「集合処理区域」と「浄化槽処理区域」に地域区分し、下水道の全町普及に向けた方向性を示しています。

集合処理区域における整備状況は、昭和六十一年の須知地区を始めとして、農業集落排水施設を十六箇所、林業集落排水施設を二箇所、簡易排水施設を一箇所、特定環境保全公共下水道を四箇所整備し、計画に基づく施設整備は完了。しかし、整備区域内全体の計画戸数が四、五二九戸に対し、使用戸数が三、五八三戸(二十二

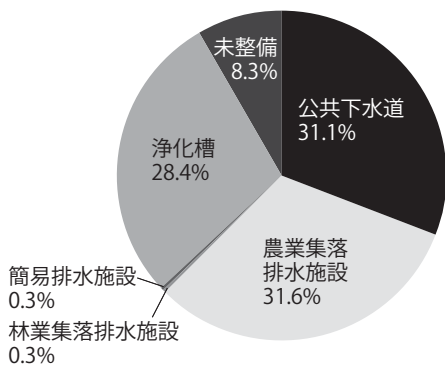
## 水洗化普及率と水洗化率

下水道の普及状況を示すのが「水洗化普及率」と「水洗化率」。水洗化普及率は総人口に対する下水道整備により供用可能な人口の割合で、水洗化率は供用可能な人口のうち実際に供用開始した人口の割合を示します。

本町の現状は、集合処理区域に

年三月末現在)のため、計画上では九四六戸が未接続となっております。(「表1」および「図2」参照)  
浄化槽処理区域においては、設置対象基数一、九四二基に対し、設置基数が二、二七基(二十二年三月末)のため、普及率六三・二%となっております。

水洗化普及率の施設ごとの比較



おける施設整備が完了し、浄化槽処理区域の整備のみとなることから、水洗化普及率が九一・七%、水洗化率が八三・二%(二十二年三月末現在)となります。



施設の点検を行う職員(瑞穂浄化センター・橋爪)

## 水洗化普及率の状況

府内の水洗化普及率を見ると、向日市が二〇〇%、大山崎町が九・九%、京都市と八幡市が九九・七%と続き、府内平均は九四・八%。近隣市町では、南丹市が九九・二%、亀岡市が八八・八%、綾部市が五九・三%となり、本町の水洗化普及率が決して高くはないことがうかがえます。

このため、町は、浄化槽設置事業による下水道整備を重点的に推進するとともに、水洗化率一〇〇%を目指して集合処理区域内で未接続の方に対する取り組みを展開しています。

**用語説明**  
\*1 計画戸数：施設設置時の処理区域内人口などに基づき設定した数値。

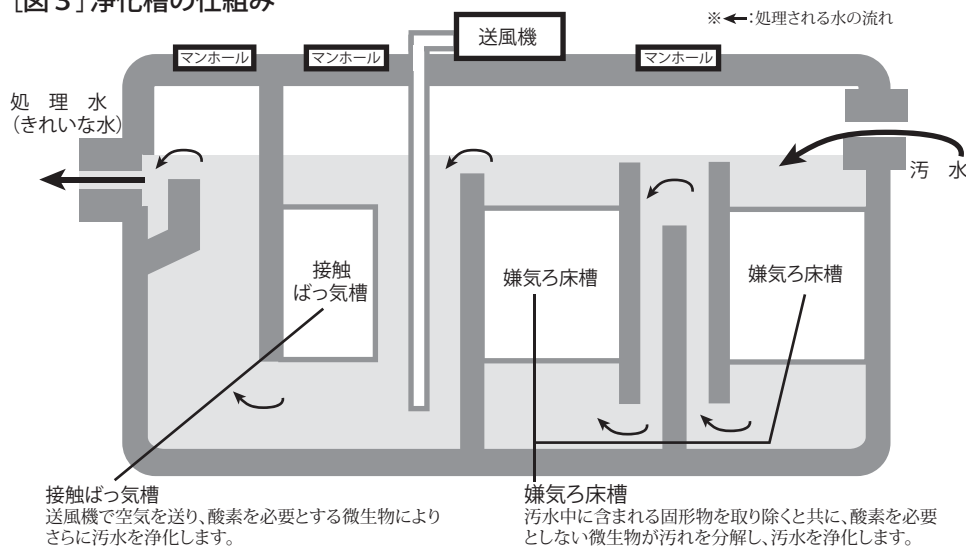


## 浄化槽の特徴

集合処理区域の施設整備に一定の目的が果たしたことから、町では浄化槽設置による水洗化を進めていきます。

浄化槽の特徴は、集合処理施設と同等の処理能力を持ちながら、設置費用が安く、工事が短期間で

【図3】浄化槽の仕組み



嫌気ろ床槽  
汚水中に含まれる固形物を取り除くと共に、酸素を必要としない微生物が汚れを分解し、汚水を浄化します。

接触ばつ気槽  
送風機で空気を送り、酸素を必要とする微生物によりさらに汚水を浄化します。

すむことや、槽の規模が小さいために設置場所を選ばないことなどがあります。(図3参照)

町は、浄化槽設置者に対し、個人が浄化槽を設置する場合に一定額を補助する「浄化槽設置整備事業」と、町が浄化槽を設置し個人から一部負担金を徴収する「浄化槽市町村整備推進事業」を実施しています。

なお、浄化槽設置整備事業は、町が定める要件を満たす浄化槽の設置に対し、次の補助金額を交付します。

- 【補助金額】
- 五人 槽：三三二、〇〇〇円
  - 六―七人 槽：四一四、〇〇〇円
  - 八―十人 槽：五四八、〇〇〇円

## 浄化槽市町村整備推進事業の概要

この事業では、町が浄化槽を設置するとともに、浄化槽を基点に集水マス(個人宅側一メートル)までと放流側十メートルまでの排水管工事を行います。このため、集水マスから宅内までと放流側十メートル以上の排水管工事は個人対応となります。(図4参照)

町が浄化槽を設置した後は、個人が個別に町指定業者に依頼し、

速やかに宅内工事などを行っていただく必要があります。

また、浄化槽設置後は、町が浄化槽の維持管理を行い、使用者には月額使用料(地区ごとに設定)とブロー(送風機)の電気代を負担いただきます。

なお、個人に負担いただく設置分担当金は次のとおりです。

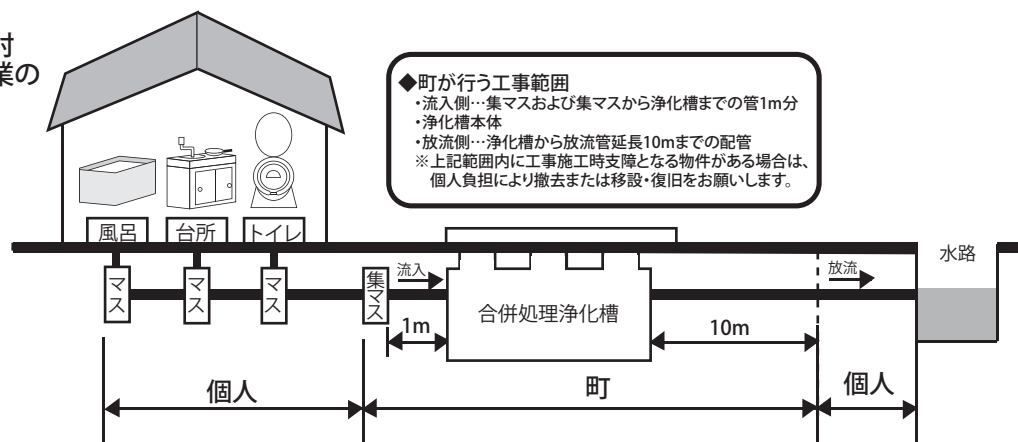
- 【個人が負担する分担当金額】
- 五人 槽：三二〇、〇〇〇円
  - 六―七人 槽：三五〇、〇〇〇円
  - 八―十人 槽：四〇〇、〇〇〇円

## 浄化槽の無償譲渡を受け付ける制度があります

町は、浄化槽設置に対する2つの事業の均衡を図るため、個人で設置して維持管理されている浄化槽(主として一般家庭用)の無償譲渡を受け付ける制度を設けており、譲渡いただいた後は浄化槽市町村整備推進事業と同様の取り扱いとなります。

対象浄化槽には、地域要件などがありますので、詳しくはお問い合わせください。

【図4】浄化槽市町村整備推進事業の工事概要



◆町が行う工事範囲  
 ・流入側…集水マスおよび集水マスから浄化槽までの管1m分  
 ・浄化槽本体  
 ・放流側…浄化槽から放流管延長10mまでの配管  
 ※上記範囲内に工事施工時支障となる物件がある場合は、個人負担により撤去または移設・復旧をお願いします。

# 施設の適正な維持管理を目指して

下水処理施設や浄化槽を維持管理するうえで大切なのは、使用されるみなさんの日々の暮らしからの心がけです。

下水処理施設や浄化槽は、微生物の働きによって下水を浄化していますので、微生物が息ししやすい環境を保つためにも、次のことに注意してください。

### ■一週間に一度は清掃を

台所からの排水マスには、生ごみを受ける「くず入れ」があります。一週間に二回程度掃除をしてください。

### ■定期的な点検と清掃を

流し口などから悪臭がする場合、パイプ詰まりや排水マスの汚れが原因となることが多くあるので、こまめに清掃をしてください。  
 ※町が維持管理する場合、公共マス(町章の入ったマス)から建物側は個人で維持管理をしていただく必要があります。

### ■ブローの電源は切らないで

浄化槽のブローの電源を切ると微生物が悪影響を及ぼします。絶対に切らないでください。

### ■日常生活における注意事項

- ・ 残飯類はできるだけ取り除き、生ごみとして処理してください。
- ・ せっけんや洗剤などは適量の使用に心がけてください。
- ・ 髪の毛や洗濯くずはできるだけ取り除いてください。
- ・ 排水マスには、石や木片、プラスチックなどの固形物を入れないでください。
- ・ 洗剤は、強酸性や強アルカリ性ではなく、中性洗剤を使用してください。
- ・ トイレで使用する紙は、水溶性のものを使用してください。

### ■次の物は流さないで

- ・ 農薬や農薬散布器具を洗浄した水
- ・ 石油類(灯油、オイルなど)
- ・ 使い残した食用油(調理器具などに付着しているものを除く)
- ・ 車や農機具などを洗車した排水
- ・ 野菜などの泥を落とした水
- ・ 衛生用品(生理用品、ゴム製品など)
- ・ ティッシュペーパー

## 汲み取りの収集日が変わります

し尿汲み取り業務は現在、船井郡衛生管理組合が毎日行っていますが、下水道整備が進み取扱量が減少したことから、収集効率の合理化を図るため、次のとおり変更になります。

- ◆変更点／七月一日から毎週 火・金曜日のみ収集

\*祭日の場合は翌日収集  
 【問】船井郡衛生管理組合  
 ☎0771-42-3425

## 宅内工事は速やかに実施してください

集合処理施設では、処理区域内の方が供用開始後三年以内に宅内工事などを行うよう、法令で義務付けられています。

また、浄化槽市町村整備推進事業で浄化槽を設置された方は、設置後一年以内に宅内工事をしていただくことが条例で定められています。

宅内工事は町指定業者が行うことになり、施工前に手続きが必要ですので、詳しくはお問い合わせください。



上下水道の学習で施設見学をする明俊小学校の児童(写真は平成21年6月17日、梅田処理場)

# 瑞穂地区区保育所の 新築工事が始まる

瑞穂地区では、平成十八年三月をもって質美保育所と梅田保育所を松山保育所に統廃合し今日に至っていますが、老朽化などの課題があることから、新たに保育所を建設します。今回、「(仮称)京丹波町立瑞穂保育所新築検討委員会」(中澤清会長、委員十五人、以下「委員会」)での検討結果を踏まえ、平成二十三年四月の開所を目指して新築工事が進む施設の概要についてお知らせします。

## 新築保育所

### 建設までの経過

昭和五十一年に建設された松山保育所は、すでに三十年以上が経過し、施設の老朽化や多様化する現在の保育ニーズに対応するのが困難な状況です。

このため、平成十九年九月には松山保育所の移転新築に向けて、保育所の位置や規模、施設概要などを検討するために、瑞穂地区の町議会議員や区長、保護者、婦人会員らで組織する委員会を設立。委員会では、七回の会合を開き、平成二十年五月に検討結果をまとめた報告書と意見書を町に提出されました。

町は、報告書や意見書の内容に基づき、平成二十一年度の実設計を行い、本年度から本格的な新築工事に着手しました。

### 施設整備の考え方

施設整備については、次の考え方を基本にしています。

- ぬくもりやさしさの感じられる施設
- 安心・安全な保育環境を目指した施設
- 地域に開かれた施設

### 新築保育所の概要

保育所は、将来児童人口の推移などを参考に、百人定員の施設規模とし、0歳児、1歳児、二歳児、四歳児、五歳児が各一クラス、三歳児が二クラスの計七クラスで、ランチルーム、子育て支援室を備えた施設として、次の内容で工事を進めています。

### 工事着工を祝い「起工式」を開催

五月十八日、和田地内の建設予定地で起工式が行われ、寺尾豊爾町長ら関係者約六十人が出席しました。

起工式では、寺尾町長が「保育所建設は本町の重点事業に位置付けており、『この町で子どもを生み育てたい』と感じてもらえる施設整備を目指しています。開所後は、地域のみならずに愛着のある保育所となるよう、職員一人丸となって質の高い保育行政の推進に努めます」と式辞を述べた後、上田秀男府議会議員らが来賓あいさつを述べました。

式の終わりには、中澤委員長が委員会での協議概要などを説明した後、乾杯の発声を行い、出席者らと共に新築工事着工を祝いました。

新築保育所の屋内配置図



#### ■整備計画

- ・整備場所 和田地内
- ・敷地面積 5,398.28㎡
- ・建築工法 鉄骨造平屋建
- ・建築面積 1,199.14㎡
- ・工期 23年1月末まで
- ・整備内容 保育室(7室)、職員室、調理室、遊戯室、ランチルーム、運動場(1,417㎡)

祝(仮称)瑞穂保育所新築工事起工式



起工式で式辞を述べる寺尾町長

新築保育所の外観イメージ図

# 竹野地区のほ場整備が完成

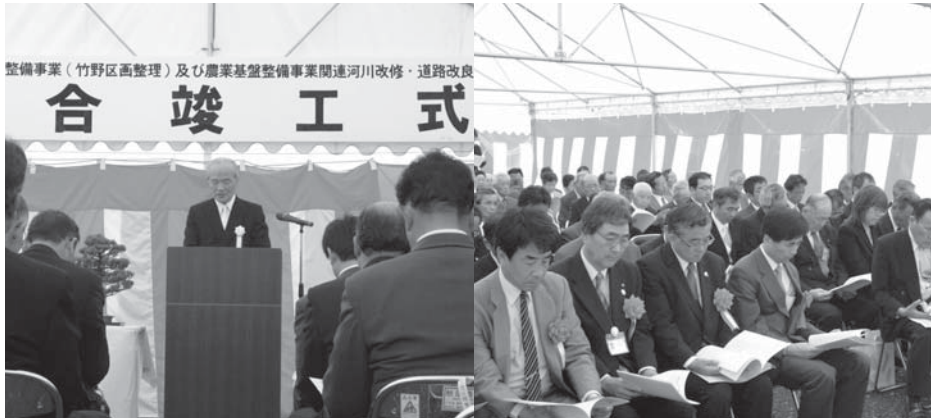
竹野地区では、農業生産基盤の充実と快適で安全な生活環境を目指して、区画整理をはじめ、河川改修や道路改良工事などを総合的に実施。今回、すべての工事が完成したことを記念し、「総合竣工式」が盛大に行われました。

## 多くの人が集い祝った 「総合竣工式」

事業完成を記念した「総合竣工式」(竹野地区圃場整備推進協議会主催)が五月二十一日、高岡市内の特設会場(府道篠山京丹波線交差点付近)で行われ、地元住民や府、町などの関係者ら約百人が出席しました。

竣工式では、出席した来賓の紹介が行われた後、関係者らが記念碑の除幕を実施。除幕により記念碑が姿を現すと、「竹野の里に多くの恵みがあるようにとの思いを込めて『多恵の里』と命名し、山田啓二知事が記念碑に記されました」と、司会者が名前の由来などを紹介しました。

続いて、同協議会の小峰一郎会長が「平成九年八月の設立総会以来十三年経ちますが、多くの方のご理解とご協力、そしてご支援をいただき、本日の竣工式が開催できました。時代に即応した農業生産基盤と、快適で安全な生活環境が整備されたことは、竹野地区の飛躍的な発展に寄与するものと信じています。関係者のみなさん、ありがとうございました」と式辞を述べた後、寺尾豊爾町長らが来賓としてあいさつをし、式の締めくくりには西山和樹議長の発声により乾杯が行われ、出席者らはほ場整備をはじめ道路や河川の工事完成を祝いました。



竣工式で式辞を述べる小峰会長

事業の経過報告を聞く出席者



新設された一般府道篠山京丹波線・中畑バイパス(中畑地内)

区画整理されたほ場(辻村地内)

改修された笹尾橋(笹尾地内)

## ■事業の概要

竹野地区は、笹尾、中畑、辻村、中村、鎌倉、下村、西階、水戸、新水戸の九区で構成。同地区内では、農業を営む上での要となる「ほ場」が狭小で排水が悪かったことや、区内にある須知川が蛇行し井堰が複数あることで災害への備えが不十分であったことなどから、平成九年に「竹野地区圃場整備推進協議会」を設立し、生活環境の向上を含めた総合的な事業を実施してきました。

今回の整備事業では、ほ場の区画整理を南丹区域農用地総合整備事業(独立行政法人森林総合研究所)、須知川の改修を須知川農業基盤整備事業(京都府)、十三箇所の井堰を三箇所(沢宮ノ本、高岡)に統合する工事を基盤整備促進事業(町)で実施。併せて、生活環境の向上を目指した一般府道篠山京丹波線「中畑バイパス」の新設工事を篠山京丹波線農業基盤整備事業(京都府)により取り組んできました。

全体事業の施工年度は平成十一〜二十年度。事業費は、区画整理が六億六千万円、河川改修(橋梁と高岡井堰含む)が九億四千万円、道路改修が二億五千万円、井堰工事(沢宮ノ本)が一億七千万円で、総額二十億二千万円。事業内容は、区画整理した農用地約三十ヘクタール(完成後)、ほ場整備地内の農業用道路整備五三メートル、須知川の蛇行を直線的に改良する河川改良工事延長二・四キロ、橋梁改修三橋(笹尾、広場、高岡)、井堰の統合整備三箇所、総合的な事業展開により生活環境および農業生産基盤の充実が図られました。



改修された須知川と高岡井堰(下村地内)



記念碑の除幕を行う関係者(府道篠山京丹波線交差点付近・高岡地内)



# 『腰を守る』

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は和知診療所の理学療法士 大田有次さん。多くの人が悩まされている腰痛の予防方法についてのお話です。

## 腰

痛はほとんどの人が経験する一般的な疾患です。しかし、風邪を予防するためにうがいをしたり栄養や睡眠に気を配ることはあっても、腰痛にならないために気を付けている人は少ないのではないのでしょうか。腰痛は「予防に勝る治療なし」と言われており、次のことに気を付けることで、発生の予防や発症者の痛みを軽減することができます。

### ■一般的な腰痛予防

- ・物を持ち上げるときは、物を自分の身体に近づけて、背すじを伸ばしたままひざを曲げ、足の力で持ち上げる。
- ・前かがみの姿勢をとるときは、ひざや台など適当な場所につき、腰の負担を軽減する。

### ■農作業のときの腰痛予防

- ・刈払い機で草刈りをするときは、できるだけ前かがみの姿勢にならないよう注意する。
- ・前かがみの姿勢で作業を行うときは、時々腰を伸ばして腰の筋肉を休める。

### ■事務仕事などの腰痛予防

- ・長時間座り続けられないようにする。
- ・休憩時には立ち上がり腰の曲げ伸ばしを行い、歩き回る。

### ■介護のときの腰痛予防

- ・ベッド上で介護作業を行うときは、ベッドの高さを調節し、前かがみの姿勢を避ける。
- ・移乗介助のときは、複数介助や介助機器の利用により、腰への負担を軽減する。



理学療法士 大田有次さん (和知診療所)

節し、前かがみの姿勢を避ける。

高年齢の方は、注意を  
 がんばって背筋を伸ばしていると、腰の筋肉が疲労し痛みを起すことがあります。時には、痛みを起さない楽な姿勢で歩くことも大切です。

また、長距離の歩行では、歩行器や押し車を使用することで腰痛を軽減することができます。

※腰痛予防に興味のある方は、「職場における腰痛予防対策指針」をウェブ検索してみてください。

## ホッケーを通じて広がる交流の輪

### ■ホッケーフェスティバル

第五回京丹波町ホッケーフェスティバルが四月二十九日、グリーンランドみずほホッケー場で開催され、小学生から社会人までの三百五十六人(三十八チーム)が参加しました。

本大会は、町内外のホッケー仲間が一堂に会し、競技力の向上をはじめ、交流や親睦を図ることを目的に、小学・中学・一般の男女別、計六部門で実施。試合では、チーム一丸となってゴールを目指し、出陣選手は試合の空き時間を

などが見られ、会場を沸かせていました。

本大会では、他府県から参加するチームに配慮して開会式の間を遅らせて実施。大会会長の朝子照夫教育長は、「日ごろの練習成果を生かした好プレーが見られることを期待するとともに、競技を通じて選手同士の交流を深めてください」とあいさつし、出場選手らを激励しました。

また、多目的グラウンドでは、「スピードガンコンテスト」が行われ、出場選手は試合の空き時間を



巧みなスティックさばきで攻め込む選手(グリーンランドみずほ・大朴)

## 地域に開かれた身近な施設を目指して

### ■タケノコ掘り体験

四月二十八日、松山保育所の五歳児三十四人が丹波自然運動公園を訪れ、タケノコ掘りを体験しました。

同公園は、園内の自然に親しんでもらうことで地域に開かれた身近な施設となるよう、町内の保育所や幼稚園の園児を招いて、毎年この時期に体験活動を実施。園児たちは、園内にある竹林の中を探索し、地面から頭を出したタケノコを見つけると、同公園職員に手伝ってもらいながら、スコップなどを使って次々とタケノコを掘り起こしていきました。

同公園では、町内の保育所すべてで実施を予定していましたが、天候不良のため、松山保育所のみの実施となりました。

## 地域ブランド「アユ」を知る機会

### ■稚アユ放流体験

五月六日、和知川漁業協同組合が、和知小学校の五年生三十九人を本庄市内のフクイ河原(由良川)に招いて、稚アユの放流体験を行いました。

この取り組みは、地元の児童が地域ブランドであるアユの生態などを学ぶことを目的に、毎年この時期に実施。参加した児童は、同組合長の野間之暢さんから「アユは周囲の環境によって体色変化す

るため、上流のアユは黒く、下流になるにつれて白くなる特徴があるので知っておいてください」などとアユの生態についての説明を受けた後、バケツに移された稚アユをやさしく由良川に放ちました。

また、四月二十八日には、同組合の管轄領域にある下山小学校の五年生十一人を下山地内の高屋川に招いて、今回初めて放流体験を実施。ほかに、六月二十日のアユ友釣り解禁に備え、四月二十四日



稚アユを放流する児童たち(由良川・本庄市内)



力を合わせてタケノコを掘り起こす園児(丹波自然運動公園・曾根)



鍾乳洞内を見学する来園者(質志鍾乳洞公園・質志)

## 楽しみながら交流を図るスポーツイベント

### ■障害者ふれあい広場

第四十四回障害者ふれあい広場「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」(京都府主催)が五月十六日、丹波自然運動公園で行われ、出場選手やボランティアら約四千二百人が参加しました。

このイベントは、参加した多くの府民が楽しみながら交流を図ることで、障害者スポーツの振興と障害に関する理解を深めることを目的に、スポーツコーナー、ふれあいコーナー、ふれあいウォークラリー

の三部門で実施。スポーツコーナーでは、パン食い競争やぐい飲み競争など六種目の個人競技と、玉入れなど三種目の団体競技が行われ、個人技やチームワークを生かした選手たちの姿に、会場全体が笑顔であふれていました。

ふれあいコーナーでは、府内の福祉施設や共同作業所が出店し、自主生産した製品などの即売会を実施。また、アトラクションとして、南丹・園部・須知・京都聖カタリナの四高校の吹奏楽部が合同バンドを



パン食い競争に参加する選手(丹波自然運動公園・曾根)

結成し、さくらんぼや演歌メドレーなどの演奏で会場を沸かせていました。

## 手植えでの田植え作業を体験

### ■竹野小学校が田植え体験

五月十三日、竹野小学校の二年生六人が山田元さん(高岡)の田んぼを訪れ、田植え体験を行いました。同校では、生活課の授業の一環として、田植えから収穫までの米作りの一連の過程を体験し、自然や人々との関わり大切さを学ぶことを目的に、地元農家の山田さんの協力を得て毎年実施。児童たちは、山田さんから肥料のまき方や苗の植え方、米づくりの工程などの説明を受けた後、素足で田んぼ

に入り、手作業でいねいに苗を植えていきました。

植え付け作業が終わると、児童代表の山田淳至さんが「今日は田植えを教えていただきありがとうございます」と、お礼のあいさつを述べました。

指導にあたった山田元さんは、「児童には、手植えでの田植えや鎌を使った稲刈りなどを体験する中で、農業に興味を持ってもらいたい。体験活動は今年で十年目とな



山田さんに教わりながら田植えを体験する児童たち(高岡地内の田んぼ)

るが、これからも続けていきたい」と話しました。

## 良質な黒豆栽培を目指す

### ■排水対策実演会

「儲かる黒大豆の極意!最新排水対策実演会」(町農業技術者会主催)が四月二十七日、市場区内のほ場で行われ、黒大豆生産者ら約三十人が参加しました。

実演会は、黒豆の栽培過程で発芽時に湿害にあうと生育に悪影響を及ぼすことから、は種前の排水対策の大切さを再認識し、最新の排水技術を学んでもらうことを目的に実施。参加者は、府南丹農業改良普及センターの職員から排水対策についての説明を受けた後、トラクターに弾丸の形をした機器を取り付けて引張り、畝間に暗きよを作る作業などを見学し、良好な発芽環境を整えるための方法を学びました。



弾丸による暗きよ排水の実演作業を見学する参加者(市場区内のほ場)

## 緑豊かな自然の中で旬の山菜料理を満喫

### ■質志鍾乳洞公園春祭り

五月二日・四日の両日、質志鍾乳洞公園で春祭りが行われ、町内外から訪れた多くの来園者でにぎわいました。

春祭りは、同公園協力会と地元住民グループ「あけぼの会」が主催し、開園当初から続く恒例行事。今年からは、梅の加工グループ「野路の会」も参画し、祭りを盛り上げました。



あけぼの会の屋台で楽しむ来園者

春祭りに訪れた家族連れらは、鍾乳洞内の見学をはじめ、釣り堀や大型遊具で楽しいひとときを過ごし、野路の会(二日)とあけぼの会(四日)が出店する屋台で、地元食材を使った山菜料理、梅ジュース、タケノコご飯などを味わい旬の味覚を満喫していました。

また、同公園では、今年もゴールデンウィークに合わせて、季節の風物詩であるこいのぼり約三十体を入口付近に設置し、多くの来園者を楽しませていました。

## 四季折々の山野草で季節を感じて

### ■春・山野草の森祭り

「春・山野草の森祭り」が五月二日・三日の二日間、わち山野草の森で行われ、町内外から訪れた多くの来園者でにぎわいました。

祭りでは、サクラソウやマイヅル草などを展示した「春の山野草展」(四月二十九日―五月五日開催)をはじめ、山野草の寄せ植えや苔玉づくりの体験教室、旬の山菜料理、つきたてのヨモギもち、タケノコご飯などが味わえる「美味しいものコーナー」などの催しを実施。来園者は、色とりどりの山野草を観察するとともに、地元食材を



春の山野草展を楽しむ来園者

使った旬の味覚を味わい、楽しいひとときを過ごしていました。

同園では、季節ごとに彩りを変える山野草の美しさを体験してもらうために、「山野草の森祭り」を年に五回実施されています。



山野草を使って苔玉を作る来園者(わち山野草の森・坂原)

### わたしたちの町

人口	16,787(-25)
男	7,935(-11)
女	8,852(-14)
世帯数	6,482(-2)
6月1日現在/( )は前月比	



## 来園者と共に開園四十周年を祝う

## ■ちびっこまつり

五月五日、恒例の「ちびっこまつり」が丹波自然運動公園で行われ、町内外から約二万二千人が来園しました。

このイベントは、同公園の開園四十周年を多くの人で祝うとともに、ゴールデンウィークの一日をスポーツやレクリエーションで楽しみ、親子のふれあいと次代を担う子どもたちの健全な成長に資することを目的に実施。メイン会場の子ども広場では、京都出身のアイドルグループ「K K 11（京都小町11区）」のお披露目ライブとサイン会をはじめ、金魚のつかみどりや警察・消防コーナー、朝市、フリーマーケットなど、多彩な催しが行われ、来園者を楽しませていました。



記念作文を発表する桐野さん（丹波自然運動公園・曾根）



ジャブジャブ池で遊ぶ子どもたち

四十周年を記念して行われた「感謝のつどい」では、蒲生野中学校の生徒会長・桐野智哉さんが「この公園は、小さい頃からスポーツやレクリエーションなどで利用し、思い出が詰まった大切な場所です。今以上に利用が増え、さらに素晴らしい公園になることを期待します」と記念作文を発表。その後、くす玉割りや記念植樹に続き、会場の子どもたちが参加した風船飛ばしが行われ、参加者らは色とりどりの風船を二斉に空に放ち、式典の締めくくりに華を添えました。

また、この日は、天候に恵まれ気温が上昇したこと、園内のジャブジャブ池では子どもたちが楽しそうにはしゃぐ姿が見られました。

## 由良川を彩る色鮮やかなこいのぼり

## ■「大空の会」が

## 百体のこいのぼりを設置

五月一日、「大空の会」（竹内透会長）が和知バス車庫付近から対岸までの九十二メートルにわたり、約百体のこいのぼりを大空に泳がせました。

同会は、由良川の景観を生かして和知地域の活性化を図ることを目的に、平成二十一年度の和知地区区長会や地区住民から有志を募り、平成二十二年一月に発足。今年が鉄道開通百周年記念となることから、地元の雰囲気盛り上げるために、由良川上空にこいのぼりを泳がせることを企画し、使わなくなったこいのぼりの寄贈を呼びかけました。



由良川上空を優雅に泳ぐこいのぼり



大きさや色合いなどを見ながら取り付け作業を行う会員（和知バス車庫付近・本庄）

呼びかけにより、町内をはじめ、亀岡市や京丹后市などから百体を超えるこいのぼりの寄贈があり、同会員らは一体一体でいねいに取り付け作業を行い、由良川上空を色鮮やかに彩りました。

## 編集後記

田植えが終わり、周囲を見渡すと緑を基調とした色鮮やかな農村風景が広がる中、編集部は週末になると草刈りに励み、心地よい汗を流しています。しかし、毎年同じことを繰り返す中で、数年前なら半日で済んでいた場所が今年は1日近くかかってやっと刈り終わるような現状に、普段は若いと自負している編集部も「年にとって体力落ちてんやろか」と不安を感じることも。今年は体力づくりも兼ねて草刈りに励もうと思います。（K）